

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【さわやかマナーアップ運動】</p>	<p>さわやかマナーアップ週間を設け、5月、11月、2月に「朝のあいさつ運動」を実施した。小学部の児童は、あいさつ啓発のポスターを作成し掲示した。自力通学を行なっている中学部と高等部の生徒は、スクールバスの到着に合わせてスクールバス乗降場所付近や昇降口付近にのぼりを持って立ち、登校する児童生徒にあいさつを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>成果</p> <p>廊下へのポスター掲示やのぼりを持ってあいさつ運動を毎朝行ったことで、あいさつへの意識が高まった。また、小学部から高等部までの児童生徒が互いにあいさつし合い笑顔で交流することができた。</p> <p>課題</p> <p>あいさつ運動を行う生徒が限られてしまっている。学年ごとに順番に行ったり、当番のクラスが各教室を回ったりするなど、主体や形態を変化させながら誰もが「あいさつ運動をする側」の経験ができるようにし、あいさつへの意識をより高めていきたい。</p>
<p>2 実践2 【校内人権教育講習会】(教職員研修)</p>	<p>全職員を対象として校内人権教育研修会を実施した。人権教育講師派遣事業を活用し、茨城県メディア教育指導員の鈴木慶子氏にインターネットによる人権侵害について講演していただいた。ソーシャルメディアが子どもたちへ及ぼす心身への影響や情報教育の大切さなどを学ぶことができた。</p> <p>成果</p> <p>インターネットやSNSでのトラブル事例から、人権侵害についての怖さと正しい知識や情報教育が大切なことを知った。理解を深めるとともに、生徒指導にどのように生かせばよいか考える機会となった。</p> <p>課題</p> <p>人権教育の推進を目指し、様々な人権問題について満遍なく研修できるようにしていきたい。</p>